

南洋理工大学

アジア・セミナー・シリーズ

実施期間：2012年12月～2013年4月

(講座責任者：Euston Quah)

2012年

- 第1講 為替レートと東アジア新興諸国への外国直接投資：問題点と政策
(12月10日) Kishen Rajan (ジョージ・メイソン大学 教授)
- 第2講 オーストラリア製造業の地理的集積について
(12月17日) Yong Jongsay (メルボルン大学 教授)

2013年

- 第3講 ブルネイ・ダルサラーム国のマネー・サプライ：貨幣乗数の枠組みの再適用
(1月10日) Tan Eu Chye (マラヤ大学 教授)
- 第4講 マレーシアの経済的発展：ハル・ヒルのルッキング・バックワードとフォワード
(1月18日) (過去・将来展望)
Hal Hill (オーストラリア国立大学 教授)
- 第5講 東アジアのFTA：経済的様相、見通しと関連する諸事項
(1月25日) Suthiphand Chirathivat (チュラロンコン大学 教授)
- 第6講 弱・強のラングミュア崩壊レジームのシミュレーション
(2月1日) 河野光雄 (中央大学 教授)
- 第7講 アジアの統合と日本、中国及びインド
(2月8日) 林華生 (早稲田大学 教授)
- 第8講 パネル・データ・モデルにおけるLSとMM評価子の精度へのダイナミック・
(2月15日) フィードバック効果
Jan Kiviet (アムステルダム大学 教授)
- 第9講 東アジア経済統合の実質的、金融的側面
(2月22日) Aekopal Chongvilavian (東南アジア研究所 教授)
- 第10講 アジア太平洋諸国の健康保険制度の資金問題
(3月1日) James Butler (オーストラリア国立大学 教授)
- 第11講 前頭葉前部皮質の構造変動が早期小児のストレスと空間作業記憶の関係を仲立ち
(3月8日) する
具正謨 (江原大学校 教授)
- 第12講 タイのFTA戦略：現在の展開と今後の挑戦課題
(3月15日) Sothitorn Mallikamas (チュラロンコン大学 教授)
- 第13講 タイ・米国自由貿易協定交渉の準備のための環境調査
(3月22日) Chayun Tantivasadakarn (タマサート大学 教授)
- 第14講 アジア共同体、その概念と見込み
(3月29日) 鄭俊坤 (ワンアジア財団 首席研究員)
- 第15講 アジア共同体の形成に向かって
(3月12日) 佐藤洋治 (ワンアジア財団 理事長)